

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年3月14日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援センター)

|         | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点  |
|---------|---|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 11 | 1   | ・適切であるが、教材や遊具を入ると狭く感じる為、環境設定は工夫しています。<br>・人数や活動に応じて環境設定を行っています。<br>・パーテーション利用で環境設定を行っています。<br>・少し狭いように感じることがあります。状況に合わせてペランダに椅子を出したり、倉庫に片付けてスペースを作っています。 | ・指導室の大きさは適当であるため、限りがあるスペースを有効的に使えるように活動に合わせて環境設定を今後も行っていきます。   |
|         | ② 職員の配置数は適切であるか   | 13 |     | ・国基準は4:1を3:1の配置に加えてパートも入っています。<br>・パート、看護師含め充分の配置です。<br>・担当のお子さんとじっくりと関わりたい時に職員の手がもう少しほしい時があります。   | ・職員の配置数は適切です。各クラスの状況や子ども達の様子を聞く中で、場面毎にじっくりとした関わりが必要である場合は、パートの職員が入り職員調整を行い関わっていききたいです。   |
|         | ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | 13 |     | ・市の建物である為、法人で改築等できないところもあるが、工夫している。<br>・(うさぎ組)手すりを使用して歩行できるスペースの確保。マットを敷いて自由な姿勢やリラックスがとれるようにしている。  | ・学園側で改修工事等を決めて行うことができないため、現在の建物の環境を生かしパーテーション等を上手く使い活動内容や子ども達の状態に合わせて構造化していききたい。   |
|         | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか   | 11 | 2   | ・毎日の清掃、消毒は徹底しています。<br>・日々の掃除に加え、外部の清掃会社により室内清掃を行っています。<br>・窓や網戸は季節の変わり目に掃除しています。   | ・指導室や共有部分等の清掃を時間を決めて清掃しています。しかし、安全面から窓を開けっ放しに出来ない等で誇りがたまりやすい面もあります。そのため、気づいた時にも清掃を行う等衛生面に気を配るようにしています。<br>・もう少し丁寧な掃除を心がけるようにしていききたいです。 |
| 業務改善    | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか   | 13 |     | ・クラスにおいては日々の療育後、カンファレンスに努めています。  | ・各クラスでカンファレンス等を行うことでPDCAサイクルの考えが身についていくようにしています。   |
|         | ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか   | 13 |     | ・保護者の意向を把握しながら取り入れる所は対応しています。<br>・保護者の意見は全員把握しているか分からないが、改善に努めています。  | ・保護者の意見をクラス担当職員や児童発達支援管理責任者がモニタリング等を行う中で意向を把握し、改善が必要な面は改善に繋げていくようにしています。   |
|         | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                 | 13 |     | ・保護者の意向を把握しながら取り入れる所は対応しています。<br>・保護者の意見は全員把握しているか分からないが、改善に努めています。  |  |
|         | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   |    |     | ・今年は富山市の外部評価を受けています。   |  |
|         | ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 13 |     | ・外部研修の機会はオンライン含め増えてきている為、事業所内で復命等を行っています。<br>・研修に参加した職員が情報共有のためフィードバックを行っています。<br>・コロナ前よりは一時期減ったがオンライン等の研修や学習会があり参加する機会が徐々に増えてきています。                     | ・研修の機会はあるが、以前と比べると多くはないので、知識や技術の向上を今後も研修等に参加することで、療育に生かしていきたいです。また、受けた研修の復命を事業所内で今後も行っていきたいと思います。                                      |
|         | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 13 |     | ・ポーター指導や連絡帳等で常日頃、保護者より課題やニーズを聴取するようにしています。<br>・児発管のアセスメントを十分聞き取った上で支援計画作成を行っています。  | ・子どもと保護者のニーズを把握しながら、発達状況に合った計画を作成できるように今後もモニタリングや保護者と話をする機会を設けていききたいです。  |
|         | ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 13 |     | ・サービス担当者会議や個別評価表の活用を行っています。  | ・学園で使用しているアセスメントツール以外で良いものがあれば使用していききたいです。   |
|         | ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 10 | 1   | ・設定しています。  |  |
|         | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 12 |     | ・各クラス内では個々の支援計画に応じてツールを作成したり、頑張り表を使用し、クラス職員で共有しています。   | ・一人一人の計画に沿って支援を行うように心掛けているが、職員人数やその日の状況により難しい時もあります。もう少し見通しを持ち、課題が現状に合っているか計画と照らし合わせながら支援していききたいです。                                    |

|   |   |    |    |   |   |
|---|---|----|----|---|---|
| ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 13 |    | ・月1回クラスで立案しています。<br>・毎月のクラス会議でアイデアを出し合い季節、興味関心に応じたクラス活動を考えています。同じ活動でも教材やねらいを変える等の工夫を心がけています。      |   |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 12 | 1  | ・月1回クラス会議で立案しています。<br>・毎月のクラス会議でアイデアを出し合い季節、興味関心に応じたクラス活動を考えています。同じ活動でも教材やねらいを変える等の工夫を心がけています。    | ・季節の活動は取り入れるようにしているが、固定になっている場合も多い。新しい活動を取り入れられるように、一人一人のアイディアの幅を広げていきたいです。 |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか                                 | 13 |    | ・月1回クラス会議で集団活動を立案しており、その中で子ども一人一人の様子や目標を取り入れられるようにしています。  | ・職員自身が子どもたちの発達段階を見極め把握し立案しているが、活動の場で支援できていない時もあるため、常に心がけられるようにしていきたいです。     |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                               | 13 |    | ・受入れの準備、活動の打ち合わせは毎日確認しています。   | ・朝の受け入れ前に会議や打ち合わせ、準備等で時間を要し、朝の受け入れ時にバタつく時間があるため、余裕を持って動けるようにしていきたいです。       |
| ⑱ | 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                           | 11 | 2  | ・毎日の記録を記入しながら支援についてクラス内で話をするようにしている。その他、相談や報告はその日のうちに責任者にする。                                      | ・療育終了後に研修や行事の準備等があり、毎日できない事があります。また、振り返りは行っているが、記録に残せていないため、残すようにしていきたいです。  |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 13 |    | ・毎日の記録を記入しながら支援についてクラス内で話をするようにしています。その他、相談や報告はその日のうちに責任者に報告しています。<br>・日々の支援はクラス職員で振り返り反省を行っています。 |   |
| ⑳ | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | 10 | 3  | ・年1回児発管がモニタリングを行っています。  |   |
| ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                             | 13 |    | ・子どもの様子等が分かる担当職員が参加しています。   |   |
| ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 11 | 2  | ・必要に応じて行うようにしています。  | ・心理面での支援、連携が上手くいかなかったため連携を上手く取っていけるように職員自身の質を高めていきたいです。                     |
| ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか | 11 | 1  | ・必要に応じて行うようにしています。  |   |
| ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか              | 11 | 1  | ・マニュアルの作成、確認は必ず主治医にしてもらっています。<br>・保護者を通して連携がとれています。   | ・連絡体制は整えているが、医療機関も多忙であるため、なかなか連携をとることは難しく、保護者を通して確認をとってもらっています。             |
| ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか                | 13 |    | ・就学に向けて連絡会、移行支援会議を行い記録しています。並行通園しているお子さんも連携訪問を行っています。   |   |
| ㉖ | 移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                             | 13 |    | ・就学に向けて連絡会、移行支援会議を行い記録しています。並行通園しているお子さんも連携訪問を行っています。   | ・情報共有で、気軽に学校や園等に訪問に行きたいが、日中の療育時間に職員が抜けて訪問することが難しいことがあります。                   |
| ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                     | 13 |    | ・定期的に児童発達通園センター協議会の研修があります。   |   |
| ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                      | 2  | 11 | ・コロナ禍で交流は控えているが、落ち着いたら再開したいです。  |   |

|            |   |    |   |   |   |
|------------|---|----|---|---|---|
|            | ⑲ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | 6  | 6 | ・事業所としては通園部の職員ではないが参加しており、主に相談員が参加しています。  |   |
|            | ⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 13 |   | ・保護者からの相談はいつでも対応しており、必要に応じて児発管や責任者にも報告しています。<br>・連絡帳やクラスだよりの発行を日々行っています。  |   |
|            | ㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか  | 10 | 3 | ・ポーター指導で子どもへの関わりや対応方法等を伝えています。  | ・ポーター指導以外の光の会等でも保護者向けに全体研修が今後コロナの状況をみてできたらよいと思います。  |
| 保護者への説明責任等 | ㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 11 | 1 | ・入園前のオリエンテーションで行っています。  |   |
|            | ㉓ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 13 |   | ・保護者に直接支援計画の内容について時間を設けて説明をしています。   |   |
|            | ㉔ 定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか  | 12 | 1 | ・月1回のポーター指導で行っており、相談・助言については記録に残しています。<br>・わからないことは他の職員などに聞き確認してから伝えるようにしています。<br>・療育後に対面式で相談にのったり電話対応したりすることができたと思います。 | ・保護者支援についてより学ぶ必要があります。  |
|            | ㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | 13 |   | ・毎月の光の会で活動のサポートをしています。<br>・光の会で交流しています。   | ・光の会で保護者が集まる機会はあるが、コロナ禍で短時間の集まりで、開催内容によって保護者同士がコミュニケーションをとる時間が少ないため、交流がなかなかできていない面があります。内容を検討する中で、保護者同士の繋がりも増やしていきたいです。 |
|            | ㉖ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                         | 13 |   | ・相談や申し入れ内容に応じて児発管や責任者に報告し即座に対応しています。  |   |
|            | ㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 13 |   | ・毎月の学園だよりの、定期的なクラスだよりを発行しています。  | ・ホームページ等をもっと気軽に使えるようにしていきたいです。  |
|            | ㉘ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか   | 13 |   | ・鍵付きロッカーで保管しており、クラス内の掲示についても気を付けています。   |   |
|            | ㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 11 | 1 | ・電話で伝わりにくい内容は直接時に口頭や必要に応じて書面でお知らせするようにしています。  |   |
| 非常時等の...   | ㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 7  | 6 | ・コロナのため、ほとんど交流はしていません。  |   |
|            | ㉛ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | 13 |   | ・各種マニュアルの作成、職員での共有は徹底しており、マニュアルに従って訓練を行っています。保護者への周知は入園オリエンテーションの際にマニュアルを配布しています。                                       |   |
|            | ㉜ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 13 |   | ・非常災害マニュアルの作成を策定し、職員との間での共有は徹底しており、マニュアルに従って訓練を行っています。  |   |
|            | ㉝ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか  | 13 |   | ・入園前の面談やオリエンテーションでの確認。又、主治医の意見書等で確認しています。<br>・緊急時の対応についても看護師含め職員で研修し、共通理解を図っています。                                       |   |
|            | ㉞ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 13 |   | ・面談やオリエンテーションで確認を行っており、主治医の意見書等で確認しています。<br>・緊急時の対応についても看護師含め職員で共通理解しています。  |   |

|    |    |   |    |   |   |
|----|----|---|----|---|---|
| 対応 | ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 13 | ・ヒヤリハットや事故報告書等は回覧し、職員全体で共有し、注意しています。  | ・共有しているが、クラス内でヒヤリハットの振り返りをしていることがありました。 |
|    | ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 13 | ・虐待防止マニュアルを作成し、研修会も行っています。  |   |
|    | ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 13 | ・姿勢保持のためのベルト使用については専門職の先生と相談しています。保護者にも説明し、必ず記録に記載しています。<br>・身体拘束について学ぶ機会が多くあり、日々考えさせられ、悩みながら又相談しながら行うように心掛けています。 |   |